（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来kazaoka津島2nd			
○保護者評価実施期間	R8年　１０月　１日	～	R8年　10月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	R8年　１０月　１日	～	R8年　10月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年　10月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広々とした室内スペースがあり、活動内容や子どもたちの状況に合わせて、安全なパーテーションで空間を区切っています。また、相談室を個別対応の場所として活用し、気持ちを落ち着かせたり、個別に話をしたりできる環境を整えています。	スケジュールボードや写真カード、イラストなどを活用し、活動の流れや予定を視覚的に分かりやすく伝えています。一人ひとりの理解度や特性に応じて提示方法を工夫し、安心して活動に参加できるよう支援しています。	地域の子どもたちとの交流や、地域の方も参加できるイベントなどを検討していきます。また、季節のイベントや個別面談などを通して、保護者同士の交流や情報交換、ご家族が学べる機会も充実させていきたいと考えています。
2	子どもたちの発達段階や特性、興味・関心を理解し、それぞれに合った活動や支援方法を考えています。個別・小集団・集団活動を組み合わせ、無理なく参加できるよう配慮しながら、できた経験を積み重ねられるよう取り組んでいます。	宿題や個別活動など、自分でスケジュールを考えたり、活動を選んだりする機会を設けています。また、子どもたちの興味やリクエストも活動に取り入れ、自分から意欲的に参加できるよう工夫しています。	事業所を2つに分けたことを活かし、それぞれの子どもの発達や特性、利用状況に合わせた、よりきめ細かな支援を行っていきます。また、活動内容や環境を見直しながら、さまざまな経験ができる機会を増やしていきます。
3	イベントや子どもたちのリクエストを取り入れた活動を行っています。イベントでは、マジシャンのアレマーさんをお招きしたり、レゴランドへの親子遠足を企画したりしています。また、ヤマザキパンのご協力をいただき、実際のパンを使ったお買い物練習を行うなど、楽しみながら生活に役立つ経験ができるよう工夫しています。隣接する動物園で生き物と触れ合ったり、地域の公園で遊んだりする機会も設け、子どもたちの経験の幅を広げています。	毎月の避難訓練やヒヤリハットの共有、月1回の気づきシートなどを活用し、安全な環境づくりに努めています。また、学校や園、相談支援員、訪問看護などと情報共有を行い、必要に応じて連携しながら支援しています。	支援前の打ち合わせだけでなく、支援終了後の振り返りも大切にし、子どもたちの様子や気づいた点、改善点を職員間で共有できるようにしていきます。研修への参加や学びの共有を通して、職員全体の専門性と支援の質を高めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援後の振り返りや、子どもたちの様子・支援方法について共有する機会にばらつきがあり、職員全体で改善に取り組む必要があります。	日々の支援や業務に追われ、支援後の振り返りや改善点を共有する時間を十分に確保できていないことが要因です。	支援前後の打ち合わせや振り返りの時間を大切にし、子どもたちの様子や支援方法、改善点を職員全体で共有できるようにしていきます。
2	地域の子どもたちや地域住民との交流、自立支援協議会などへの参加が十分とはいえず、地域とのつながりを広げていく必要があります。	日々の事業所内での支援が中心となっており、地域の行事や交流の機会に関する情報収集、参加するための調整が十分にできていないことが要因です。	地域の行事や交流の機会について情報収集を行い、地域の方も参加できるイベントや地域の子どもたちとの交流などを検討していきます。
3	日々の相談や個別面談は行っていますが、保護者同士の交流や、子育てについて学び合える機会が十分ではありません。	個別の相談や面談を中心に対応しており、保護者同士が交流したり、情報交換したりする機会を計画的に設けられていないことが要因です。	個別相談や面談を継続するとともに、保護者同士の交流や情報交換、子育てについて学べる機会を設けられるよう検討していきます。